

第 49 回 理事会議事録

1.開催日 2025 年 9 月 7 日(日) 14:00～17:00

2.開催場所:各自宅等にて Zoom 会議に参加する。

3.理事 23 名中 16 名が出席し定足数を満たした。

(出席)村越 真 前田(大里)真理子 鹿島田浩二 高島和宏 信原 靖 石澤俊崇 今泉知也 糸早穂
小林 力 吉村年史 中野智美 野中好夫 大野(山本)徳子 市橋国之 田中紅音 野村善弥
加納尚子(報告事項から参加)

(欠席)野田聖子 浴本悠貴 千葉望央 石川翔太 川瀬智尋 犬尾英里子

監事:(出席)齋藤宏顕(欠席)齋藤和助 中川義宏

顧問:杉山隆司 愛場庸雅

オブザーバー(第 1 号議案のみ):西村徳真(NishiPRO)

事務局:小野賢二 上松典子(記録)

議長:定款第 32 条により、前田(大里)真理子代表理事を指名した。

審議事項

第1号議案 日本ランキング規則改定の承認(糸業務執行理事)(オブザーバー:西村氏)

日本ランキング規則において1点を改訂する。

(1)ランキングの公平性と安定性を高めるため、アルゴリズムを修正。

アルゴリズムの修正については、専門性を理解している方の意見も聴取した。

(2)5項「規則の見直し」の削除

以上、審議の結果、出席理事総数 16 名のうち賛成 15 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

第 2 号議案 デフリンピック委員会委員追加の承認(高島業務執行理事)

デフリンピック開催が間近に迫り、運営パート毎での具体的な詳細運用作成等の対応が必要になり、大会運営実務が豊富な方に個別に委員会活動をお願いし対応頂いている。

以上のことから、以下の委員2名追認いただきたい。

氏名:徳永 良一氏 仁多見 剛氏

以上、審議の結果、出席理事総数 16 名のうち賛成 14 名、反対 0 名、棄権 2 名により原案を承認した。

(審議は第 2 号議案から開始された。棄権 2 のうち 1 は理事会参加が遅れ、議決に間に合わなかった為)

第 3 号議案 総務委員会委員追加の承認(信原業務執行理事)

総務委員会は、所掌範囲が広く、広報から、財務、情報管理など、多岐にわたるため、その一部を担当できる方を委員として取り込み、活動を強化することが必要と考えている。

以上のことから、以下の委員を1名追認いただきたい。

氏名:今泉 知也氏(業務執行理事)

以上、審議の結果、出席理事総数 16 名のうち賛成 15 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

第 4 号議案 高額寄附を増やすプロモーション施策実施の承認、およびそれにもなう寄附金取扱規程、寄附金取扱実施基準改定の承認(今泉業務執行理事)

高額寄附者に対して寄附金額に応じて特典を設ける寄附制度の設置。また累計寄附者に対しては表彰を行う。上記に伴い、寄附金取扱規程の改正と寄附金取扱規程の整備が生じたため改定をおこないたい。

また案としてあげられている特典は全日本大会関係が多いが、大会運営者の負担にならないような配慮が必要ではないか、との意見もあった。

以上、審議の結果、出席理事総数 16 名のうち賛成 15 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

第 5 号議案 行事開催申請取扱実施基準制定の承認(信原業務執行理事)

JOA が負担する傷害保険料が増大していることから、保険料は受益者負担としてその費用について後日大会主催者と精算することを方針として決めた。

方針転換に合わせて以下 2 つの実施基準が必要となり、制定をしたい。

「行事開催申請取扱実施基準」「大会参加者の災害補償実施基準」

(質疑) Q:主催者に関してかなり広範囲に定義しているが、JOA としてそこまでカバーするという理解か?

A:「希望するならば」という前提のもと、会員を通じてということにはなる。

Q:開催届を提出する段階で参加人数が明確でないといけないのか?

A：報告書を提出する際に実際に出走した人数を報告すれば良い。

ただし内容によっては受けられないもの（対象外）もある（例：ナイト O など）

Q：現行の保険会社とは契約解除となるが、事前に説明などはしているのか？

A：担当者と実際に面談し、理解をいただいている。

以上、審議の結果、出席理事総数 16 名のうち賛成 15 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

第 6 号議案 2025 年度全日本スプリント大会競技責任者業務発注の承認（石澤業務執行理事）

全日本スプリントの競技性を長期的かつ安定的に維持・向上させるため、競技責任者についてプロ事業者をはじめとする経験豊富な方に業務委託する方針を検討している。についてはスプリント委員会メンバーである高野兼也氏に発注をすることについてご承認をいただきたい。

以上、審議の結果、出席理事総数 16 名のうち賛成 15 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

第 7 号議案 2025 年度全日本ミドルロング大会事業者発注先の承認（石澤業務執行理事）

全日本オリエンテーリング大会（2025/10 月：栃木県）において、委員会内委員である事業者へ役務の発注を行う予定のため、理事会内での承認をいただきたい。事業者は以下の通り。選定は金額が最も安い業者にて選定。

地図シーリング等 坂野山遊地図企画/ ゼッケン印刷 YMOE/ 資材責任者 坂野山遊地図企画

※昨年までは地図印刷も含めていたが、印刷自体も直接発注できるノウハウもできシーリング発注のみで費用を抑えた。

※なお石澤理事、条理事は委員会に関与することから決議時には離席対応とし、決議には参加しない。

以上、審議の結果、出席理事総数 14 名のうち賛成 13 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

報告事項

1) AsJYOC2025 報告（高島業務執行理事）

第6回アジアジュニア・ユースオリエンテーリング選手権大会を愛知県設楽町で開催。8/26-31。

名古屋大、椙山大の若手スタッフと設楽町が中心となって運営。ペーパーレス運営。

選手 145 人 5 カ国（地域）の参加。大会は無事に開催できた。

2) 東京 2025 デフリンピック状況の報告（村越副会長、野中理事）

・7/18(金)(一社) パラスポーツ推進ネットワークのデフスポーツメディアフォーラムに登壇。

・9/27(土)にメディアトレーニングを予定。日本代表チームヨルク監督と井上手話通訳者が参加予定

・デフリンピック準備委員会を中心に順調に進んでいる。コース設定もほぼ終わり地図修正の段階。

運営スタッフもほぼ決まり 9/4 に全体ミーティングを開催（オンライン）

3) 業務執行理事報告（競技力向上担当：鹿島田業務執行理事）

・選手の派遣、関連する活動についての報告

・各委員会の強化活動報告

・その他（スポンサー獲得活動、助成金獲得活動）

4) AOA 総会報告（村越副会長）

・総会は AsJYOC2025 開催時に愛知県設楽町を会場として対面＋オンラインで行われた。

・対面参加国（日本、中国、韓国、香港、台湾）オンライン参加（シンガポール、フィリピン、タイ、カザフスタン）

・オブザーバーとして IOF より杉山理事、Lok Hin Ma 氏が参加。

・主要な議題として、AsOC のルール変更（毎年開催）、アジアカップのルール変更、アジアマスターズ選手権の 2028 年よりのスタート等があったが、いずれも継続審議となった。

5) WMG/WMOC2027 準備進捗状況（高島業務執行理事）愛場庸雅（顧問/WMG2027 実行委員会）

・スプリント競技のテレインについて

神戸市内を予定していたが経費の点から不可となり、現在神戸市域外での開催場所を交渉中。

6) ガバナンスコード原則 9 項目 33 の意識付けについて（大里副会長）

ガバナンスコードの監査（審査）が行われた。大筋では問題なかったが、以下の点について改めて理事・監事の方々へ周知と理解を求めたい。

・原則9項目33「通報制度」について

役職員に対する研修と、通報に関する意識付けの周知。

透明性が問われる時流の中で、外部から情報が入る事はむしろ良い事だとする意識をもつ。

・JOA の通報窓口については Web に載せている。（アスリート委員会のサイト内にも窓口フォームを掲載）

7) MTBO 報告(加納理事)

本日、MTBO のイベントの事業報告書と会計報告を提出しました。世界選手権が先日終わったのでその報告を。
男子4名女子1名オフィシャル1名の計6名体制で臨みました。綾野選手がジュニアから年齢が上がり初のシニアエリートで、一番良い成績としてマスタート競技 45 位。女子では加納が同じくマスタート競技 35 位でした。今回オフィシャルを外部の方(ロードバイク競技でプロとして帯同している)に依頼したがとても正解だった。外部競技との繋がりも持てた。Navitabi にもスポンサードでご協力いただいた。MTBOJAPAN チームはプロモーション協力もしており、この度オーストリアチームに正式スポンサーとして代表ジャージに NaviTabi ロゴをあしらってもらったこととなった。

討議・意見交換

1) コーチ制度の方針について(信原業務執行理事)

JSPO の方針のもと進めているコーチ制度が資格取得者が少なくあまりうまく廻っていない。

対策として ・講習会の広報方法の改善

・資格取得後にコーチとして活躍できる場を作ること

・資格取得に関わる費用の補助(主に地方の会員を対象)等を考えていきたい

2)「会員支援に関する施行細則」第5条第2項の改定の件(信原業務執行理事)

競技者登録料から会員へ還元されている会員支援金の仕組みに、上限金額を定める事への提案。

3)JOA登録について(今泉業務執行理事)

競技者登録や他の登録制度を一元化し、登録者 1 人に対して1つのID を付与する仕組みを作る。

現在、複数の業者と打ち合わせをはじめている。

4)デフ協会の会費支援について(村越副会長)

入会4年目を迎え 3 年間の会費無償支援がなくなる中、支援を必要としている。

都道府県協会会員以外への支援については、今後支援の方向で、理事会等で検討する。

次回理事会は 2025 年 12 月 6 日(土) 14:00～(オンラインにて)

本日のオンラインシステムを併用した会議は、終始異常無く議題の審議を終了したのを確認した。

第 49 回理事会議事録 以上

2025 年 9 月 7 日

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

議事録署名人

議長 代表理事「副会長」 大里(前田)真理子 印

監事 齋藤 宏顕 印

以上